

AEDの使い方を知っていますか？



AEDとは、Automated External Defibrillator（自動体外式除細動器）の略です。音声ガイダンスに沿った操作で、救助者がそれに従って除細動（傷病者の心臓に電気ショックを与える）を行います。AEDは自動的に心電図を診断し、電気ショックを与える必要があるかどうか判断します。AEDの使い方は機種によって違いはありますが、基本的な操作は同じです。

心停止の可能性のある傷病者を発見したら！



両肩をたたいて声を掛け、反応があるか確認します。胸部と腹部の動きをみて呼吸があるか確認します。

AEDが到着したら、AEDを開け電源を入れます。
(AEDの種類によっては自動的に電源が入るものもあります。)



電源ON！（音声ガイダンスが流れる）



電気ショックを加えるかどうかはAEDが判断します。AEDが電気ショックの判断を下したら、傷病者から周りの人を離れさせます。

点滅するショックボタンを押します。その後はAEDが2分毎に自動で心拍をモニターし、電気ショックの判断をします。



大きな声で助けを呼びます。AEDを持ってきてもらいます。頸動脈を確認し脈拍がなければ胸骨圧迫を開始します。人工呼吸ができれば胸骨圧迫30：人工呼吸2で行います。



ショック後の2分間はひたすら胸骨圧迫、人工呼吸を行います。AEDが電気ショックの必要なしと判断しても心停止状態が続いていれば、胸骨圧迫、人工呼吸を救急車が到着するまで行います。

BLSチャート

① ICLSのNSの活動

《救急委員会》
病院の定めた委員会として、当院の救急医療の質の向上を目指し活動しています。

委員は各部署からの他職種で構成されています。少しでも多くの救急患者さんを受け入れ、適切な医療・看護が提供できるよう院内の救急のシステム・マニュアル作りや勉強会を開催しています。下部組織としてMET（メディカルエマージェンシーチーム）があり、患者さんの急変時に集合してチーム医療を行います。まだまだ未熟ではありますが、毎月勉強会を行い、その名に恥じないMETになれるよう努力

しています。

活動の一部を紹介します
★ICLSコースの開催
平成20年から年に2〜3回定期的に開催しています。院外からの受講生も受け入れています。

ICLSコースってなに？

Immediate Cardiac Life support コースと呼ばれるもので、成人の心停止に特化したスキルや知識を学びます。

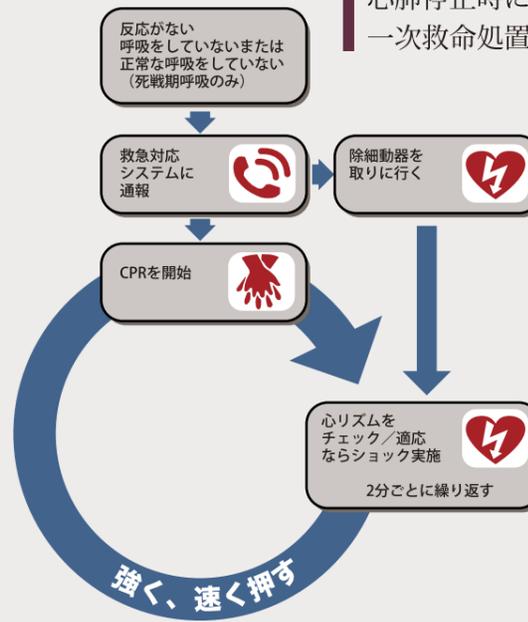
② BLSチャート

★院内BLS研修の開催
平成18年から毎年定期的に開催しており、医療職だけでなく事務職員も含め、ほとんどの職員が受講しています。

BLSって？

心肺停止時に行なう一次救命処置のことです。

簡略化された成人のBLSアルゴリズム



★コールナインマニュアル
患者さんが急変した時に、すばやく治療に必要な人員を集めるための院内のシステムです。「コールナインコールナイン」の放送があると、医師や看護師が集まります。